

第50回記念特別賞 パナソニック株式会社

このたび、権威と伝統のあるフジサンケイグループ広告大賞が、50回という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。第50回を記念した特別賞の受賞の榮譽に浴し、社員一同、大変喜び、感謝いたしております。

第1回コンクールが開催された1971年当時の弊社の状況を振り返ってみますと国際企業としての経営体質づくりを進め、ニューヨーク証券取引所に弊社株式が上場されることとなった記念すべき年でございました。

それから50年後となる現在、弊社は、グループ経営を深化させ、成長をより確かなものにしていくために、2022年4月をもって持株会社制へ移行してまいりる予定で、今年の10月に現行のカンパニー制を廃止し、事業再編を実施すべく、鋭意準備を進めております。

このように、弊社の体制につきましても、フジサンケイグループ広告大賞の大きな節目にタイミングを合わせる形で変革を迎えてまいっておりますが、弊社はこのコンクールに第1回から毎年のように積極的にチャレンジさせていただいております。

おかげさまで、各社様のご出展作品や審査員の方々のご評価から学びを得て、それぞれの媒体の特性に合った広告表現を行い、またそれを総合的に組み合わせて展開することで、お客様に価値ある情報を効果的に伝える技術を磨いてまいることができました。

弊社の創業者である松下幸之助は、「良い商品をつくったのであれば、より早く、より広く、それを世間に知らせる義務が企業にはある」といった趣旨のことを述べており、「産業人たるの本分に徹し 社会生活の改善と向上を図り 世界文化の進展に寄与せんことを期す」という弊社の綱領を遂行する上で、広告宣伝という活動をものづくりと不可分な活動と位置付けておりました。

こうした考え方をDNAとして脈々と受け継いでまいりましただけに、この度の表彰で「広告を通じて日本人のより豊かな生活に大きく貢献した」とのご評価を頂くことができましたことは、喜びひとしおでございます。

このような貴重な場を長年提供し続けてくださっているフジサンケイグループの皆さまに改めて感謝申し上げ、この度の受賞を励みとさせていただき、これからも謙虚な姿勢を忘れることなく、引き続きチャレンジしてまいりたいと存じます。

最後になりますが、フジサンケイグループ広告大賞の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、御礼のご挨拶に代えさせていただきます。

パナソニック株式会社
執行役員 ブランド戦略本部長
森井 理博

